

米帝国主義を支えるネオコン・イデオロギー

【訳者注】P・C・ロバーツも The Saker も、Global Research や Information Clearing House の常連投稿者で、ともに一目を置かれている。The Saker が、レーガン大統領の経済アドバイザーとして米政府の中枢にいたロバーツに、長年考えていたインタビューを行うというのは、一般読者にとっても有難い試みだった。The Saker の質問は、現時局に関心のある平均的な人々の知りたい点のすべてに、触れてくれたように思う。「米帝国」のヒエラルキーがどうなっているのか、誰が意思決定をするのかは、誰もが知りたく思い、誰にもわからなかった。もちろん、ロバーツがすべてを知っているわけではないが、ほぼ納得のいく答えがなされているのではなかろうか。

アメリカが、今まで我々が信じ込まされていたようなものでなかったことが、ここでも明らかにされ、目を開かれる。ところで今、アメリカが本気でロシアと戦争をしようとしているのかどうか、誰もが知りたく不安を感じている。これに対するロバーツの答えも、どうすべきかをも含めて、少なくとも私には一々納得できる。日本のメディアの役割にも言及している。メディア関係者にはぜひ読んでいただきたい。

By Dr. Paul Craig Roberts and The Saker

Global Research, March 24, 2015



私はすでに、かなり前から、ポール・クレイグ・ロバーツをインタビューしたいと考えていた。彼の書いたものやインタビュー記事は、何年も前から読んでおり、彼の見解を読むたびに、いつか彼から直接、アメリカの深層部と帝国の性質について、お訊ねする機会がもてないかと考えていた。最近、私は彼に e メールし、そのようなインタビューをお願いしたところ、有難く快諾をいただいた。このような機会を作っていただいたことに、深く感謝申し上げます。

The Saker

The Saker : — 大多数とはいえなくても、多くの人々にとって、アメリカはもはや民主国家でも共和国でもなく、“1%の者”という人たちもいますが、少数のエリートによって運営される金権国家であることが、ますます明らかになってきました。これを“深層国家”と呼ぶ人もいます。そこで私の最初の質問はこういうことです。たいへんすみませんが、私が次にあげる団体について、一つひとつ、その影響力と権力がどのようなものか、査定していただだけませんか？ 特に、これらの一つひとつについて、それが意思決定の“トップ”の立場にあるのか、それとも権力の本当の構造の中で、決定を実行する“中間”地位にあるのかを、教えていただけませんか？（リストに特別の順序はない）

- * 連邦準備 [銀行とも制度理事会ともつく]
- * 大銀行グループ (Big Banking)
- * ビルダーバーグ・グループ
- * 外交問題評議会 (CFR)
- * スカル・アンド・ボーンズ
- * CIA
- * ゴールドマン・サックスなど、トップ銀行
- * “トップ 100 家系” (ロスチャイルド、ロックフェラー、オランダ王家、イギリス王家、etc.)
- * イスラエル・ロビー
- * フリーメイソンとその支部
- * 大企業：大石油、軍需産業複合体、etc.
- * ここにない他の人々、または組織

誰が、またはどのグループ、どの実体が、現行のアメリカ政治体制で、現実には、権力の頂上にいるとお考えですか？

P. C. Roberts : — アメリカは私企業グループ、および、「歴史」はその意志を世界に押し付ける権利と責任もった“例外的で不可欠な”国家として、アメリカを選んだ、というネオコンのイデオロギーによって支配されています。

私の考えでは、最も強力な私企業グループは：——

- 軍事/安全保障・複合企業
- 4つか5つのメガサイズの“大きすぎて倒れようがない銀行”とウォール街
- イスラエル・ロビー

農企業 (Agribusiness)

採掘産業 (石油、鉱業、木材)

これらの企業グループの利益は、ネオコンたちの利益と一致します。ネオコン・イデオロギーは、アメリカの財政的、軍事・政治的な帝国主義、または覇権主義を支えるものです。

独立した、アメリカの新聞やTVメディアというものはありません。クリントン政権の最後の数年には、90%の新聞やテレビが、6つのメガ会社に集中していました。ブッシュ政権の間に、ナショナル・パブリック・ラジオ (NPR) はその独立を失いました。だからメディアは「宣伝省」として機能しています。

共和党も民主党も、その議員は、同じ私企業グループから選挙資金をもらっています。だから両党とも同じ主人のために踊っているわけです。雇用が海外へ移ったために製造業と産業別組合が潰れ、民主党は労働組合の政治献金を失いました。かつては、民主党が労働者を代表し、共和党が企業を代表していました。

連邦準備 (制度理事会) は、銀行のために、特に大銀行のために存在しています。連邦準備制度は、銀行が、取り付け騒ぎや預金引き出しのために、機能停止するのを防ぐために、最後の拠り所の貸し手として創られました。ニューヨークの Fed (連邦準備の通常呼称) は、金融介入を行うものですが、理事会をもち、大銀行の重役によって構成されています。最近の3人の連邦準備の議長はユダヤ人でした。そして現在の副議長は、イスラエル中央銀行の前総裁です。金融セクターでは、たとえばゴールドマン・サックスのように、ユダヤ人が優勢です。近年では、アメリカの財務長官と金融統制省庁の長官は、主として、最近の金融危機を引き起こした詐欺や、過剰な負債のテコ入れを行った、銀行の経営幹部がやっています。

21世紀においては、連邦準備と財務省は、もっぱら大銀行の利益のために奉仕しています。これは経済と一般人民を犠牲にしてきました。たとえば、退職者は8年間、利子収入がありませんでしたが、これは金融機関がゼロ・コストでカネを借りて儲けるためです。

どんなに金持ちの家族だとしても、彼らは、軍事/安全保障・複合企業やウォール街と銀行のような、強力な企業グループには太刀打ちできません。歴史的に確立された富は、自分の利益の面倒を見ることができます。たとえばロックフェラーのように、全米民主主義基金 (NED) とおそらく手を結んで、活動財団をもっているところもあります。NED とは、アメリカが、影響を与えるか、ウクライナで起こっているように、転覆させたいと思う国々の、さまざまな親米の非政府組織 (NGO) を、財政援助するためのものです。NGO というのは

本質的に、アメリカの第五列（スパイ機関）で、“人権”とか“民主主義”といった名の下で活動しています。ある中国の教授から聞いたのですが、ロックフェラー財団は、中国にアメリカの大学を作り、これは、さまざまな反体制の中国人を組織するのに用いられているということです。かつては、そしておそらく今も、アメリカとドイツの支援する何百という、おそらく千に達する NGO が、ロシアにありました。

ビルダーバーグ・グループが同じことをやっているかどうか、私は知りません。おそらく彼らは単に非常に富裕な人々で、彼らの利益を保護しようとする子分を、政府内にもっているのだと思います。私は、ビルダーバーグとか、メイソンとか、ロスチャイルドが、議会あるいは執行部門の決定に影響を及ぼしている兆候を、見たことはありません。

これに対して、外交問題評議会は大きな影響力をもっています。この評議会は、元政府政策立案者や、外交政策や国際問題に関わっている大学人からなっています。その出版物である「フォリン・アフェアーズ」は、主要な外交政策の発言の場所です。何名かのジャーナリストもメンバーになっています。私も 1980 年代に会員として提議されましたが、否決されました。

「スカル・アンド・ボーンズ」はイエール大学の秘密の友愛団体です。多くの大学がこのような秘密団体をもっています。例えばバージニア大学にも、ジョージア大学にもあります。これらの友愛団体は、政府の秘密計画ももたず、支配権力者もいません。それらの影響力は、エリート家族の息子であることが多いので、そのメンバーの個人的な影響力に限られていると思われます。私の考えでは、これらの友愛団体は、メンバーにエリートの身分を与えるために存在しています。実行的機能はもっていません。

The Saker : ——個人についてはどうですか？ あなたのご意見では、誰々が今日のアメリカで最も力をもつ人々ですか？ 誰が、最終的なトップレベルの戦略的決定をするのですか？

P. C. Roberts : ——実のところは、自分自身で力をもつ人々はいないのです。力をもつ人というのは、強力な企業グループを背後にもつ人です。防衛長官 William Perry が 1991 年に軍の多くを私物化して以来、軍事/安全保障・複合企業が、極端に強力になり、その力は、政治運動を援助する能力によって、またそれが多くの州の雇用の源泉であるという事実によって、更に増幅されました。本質的に、ペンタゴンの経費は、防衛請負業者によってコントロールされています。

The Saker : ——私がこれまで考えてきたことですが、国際的な観点からは、NATO とか

EU とか他のすべての組織は、単なる表づらで、世界を支配する本当の同盟は ECHELON (5機編成) 国家、すなわち米、英、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド (別名 “AUSCANNZUKUS,” “Anglosphere,” “the Five Eyes”) で、米と英がシニア・パートナー、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドがジュニア・パートナーだと思っています。このモデルは正しいですか？

P. C. Roberts : ——NATO はアメリカの作ったもので、ヨーロッパをソ連の侵略から守るためという名目でした。その目的は 1991 年に消失しました。今日 NATO は、アメリカの侵略をカバーするものになっていて、アメリカ帝国のために傭兵隊を供給しています。英、カナダ、オーストラリアは、単にアメリカの従僕国家で、独、仏、イタリア、日本なども同じです。パートナー国家というものはありません——従僕国家です。それはワシントンの帝国で、他の誰のものでもありません。

アメリカは EU を大切にしていますが、それは、個々の国家よりコントロールし易いからです。

The Saker : ——よくイスラエルが、アメリカをコントロールしていると言われます。チョムスキーなどは、アメリカがイスラエルをコントロールしているのだと言います。あなたはこの両者の関係をどう見ていますか？ 犬が尻尾を振っているのか、尻尾が犬を振っているのか、ということです。イスラエル・ロビーがアメリカを完全に支配しているのでしょうか、それとも、イスラエル・ロビーに “ノー” と言って、自分のアジェンダを押し付けることのできる他の勢力があるのでしょうか？

P. C. Roberts : ——アメリカがイスラエルをコントロールしているという、どんな証拠も私は見たことがありません。あらゆる証拠から、イスラエルがアメリカを支配しています。しかしその中東政策だけです。近年は、イスラエルまたはイスラエル・ロビーが、アメリカの大学人事や、イスラエルに批判的と考えられる教授のテニュア (終身在職権) を支配し、差し止めたりしています。イスラエルは、カトリック系と州立大学にうまく入り込み、テニュアや人事を妨害しています。イスラエルはまた、大統領指名をも妨害することがあり、新聞と TV メディアに大きな影響力をもっています。イスラエル・ロビーは政治運動のためのカネをたっぷり持っていて、イスラエルに批判的と考えられる米下院議員や上院議員を、間違いなく失脚させています。イスラエル・ロビーは、黒人女性 Cynthia McKinney の黒人議員地区にまで手を伸ばし、彼女の再選を阻止しました。海軍作戦部長で統合参謀本部長 Tom Moorer が言ったように、「いかなるアメリカの大統領もイスラエルに立ち向かうことはできない」。ムアラー提督は、1997 年の米艦「リバーティ」への、イスラエルの致命的攻撃の公的調査さえ許されませんでした。

イスラエルの政策を批判する者は、たとえよかれと思って批判しても、“反ユダヤ”というレッテルを貼られます。

アメリカの政治、メディア、大学では、これは死の一撃です。それは業火のミサイルを受けたようなものです。

The Saker : —私が先にあげた 12 の権力集団のうちのどれが、9・11 の“ニセ旗作戦”の計画と実行において、カギ的役割を演じたとお考えですか？ どうしても、これは G・W・ブッシュの就任と 9 月 11 日の間に計画され、準備されたとは考えられません——それはクリントン政権の間に準備されたに違いありません。オクラホマシティ連邦政府ビル爆破事件は、9・11 のリハーサルだったのではないのでしょうか？

P. C. Roberts : —私の考えでは、9・11 は、そのほとんどがユダヤ人であるネオコンと、ディック・チェイニーと、イスラエルによる産物です。その目的は、ネオコンが、中東での彼らの征服戦争を始めるのに必要だと主張した、“新しいパール・ハーバー”をつくり出すことでした。それが過去のいつごろに計画されたのか、私は知りません。しかし Silverstein は明らかにその一部で、彼は WTC を、9・11 より前、あまり長い間、所有してはいませんでした。

オクラホマシティのミュラー連邦政府ビルの爆破については、米空軍将軍で弾薬の専門家である Partin が、専門的な報告書をまとめ、間違いなくこのビルは内側から外へ向かって爆発したもので、トラックの爆弾は偽装だと証明しました。議会とメディアはこの報告を無視しました。身代わりの McVeigh がすでに用意されていて、それが物語の許されたすべてでした。

The Saker : —いまアメリカを取り仕切っている連中は、熱核戦争になる可能性のあるロシアとの衝突コースに自分が乗っていることを、本当に理解していると、あなたは思われますか？ もし理解しているとしたら、なぜそんなリスクを選ぶのでしょうか？ 彼らは最後の瞬間に、ロシアが恐れをなして引っ込むと、本当に考えているのでしょうか、それとも、核戦争に勝てると彼らは本当に考えているのでしょうか？ 彼らは核の大火災の中で、ロシアと共に、自分たちも持っているすべてを、自分たちの権力や命さえ、失うことが恐ろしくないのでしょ

P. C. Roberts : —私もあなたと同じように不思議なのです。ワシントンは驕慢と思いがかりで我を失っており、多かれ少なかれ、正気を失っていると思います。またアメリカは、核

戦争でロシアに勝てるという信念があるのでしょうか。2005年か2006年ころの「フォリン・アフェアーズ」のある論文が、そのような結論を出しています。核戦争に勝てるという信念は、ABM防衛への信念によって高まりました。その議論は、アメリカは先制攻撃の最初の一撃でロシアに大打撃を与えられるから、ロシアは第2弾が怖くて報復してこないだろう、というものです。

The Saker : ——この帝国の現在の健康状態をどう評価しますか？ もう何年も前から我々は、凋落の明らかな兆しを見てきましたが、まだ目に見える崩壊はありません。あなたはこのような崩壊が不可避だと思われますか？ そうでないとしたら、どうやってそれを防ぎますか？ 我々は、米ドルが突然、無価値になる日を見るのでしょうか？ それとも別のメカニズムが、この帝国の崩壊を早めるのでしょうか？

P. C. Roberts : ——アメリカの経済は空洞化しています。ここ数十年、本物の家庭収入の成長はありません。アラン・グリーンズパンが Fed の議長だったとき、消費者収入の成長が見られないので、それに代わって消費者金融の拡大を用いました。しかし大衆は今あまりにも負債が大きく、これ以上借りることはできません。そこで経済を動かす方法がないのです。あまりにも多くの製造業と、ソフトウェア技術のような、取引可能な専門的サービス業が海外へ移住したので、中間階級が縮小しました。大学卒業者は、自立できるほどの職に就くことができません。だから彼らは家庭をもつことも、家や機器や家具を買うこともできません。政府は、インフレを測定しないことによって低いインフレ指数を出し、失業を測定しないことによって低い失業率を出しています。金融市場は操作されたもので、よくこれだけ長くもったと思えるほどの、カードの家です。明らかに、カードの家が立っていられるのは、世界の残りが、米ドルを準備金として保有するのをやめる時までです。

おそらくこの帝国は、ロシアとの軋轢にヨーロッパを巻き込むことによって、ストレスをかけすぎたのでしょうか。もし、たとえばドイツが、NATO から抜け出すようなことがあれば、この帝国は崩壊するでしょう。また、もしロシアが、ギリシャ、イタリア、またスペインを、彼らがユーロ圏や EU を捨てる見返りに、財政支援する知恵があったら、この帝国は致命的な打撃を受けるでしょう。

もう一つの可能性として、ロシアはヨーロッパに対して、あなた方がアメリカと組んで我々に戦争を仕掛ける以上は、あなた方の首都を核兵器で攻撃するより仕方がない、と言うかもしれません。

The Saker : ——ロシアと中国は歴史上例のないことをやりました。同盟を結ぶという伝統的モデルを越えて、相互依存するという合意をしました。共生関係と言ってもよいものです。

あなたは、帝国を動かしている人々が、この起ったばかりの地殻変動を理解していると思いますか？ それとも、現実があまりにも恐ろしいので、ひたすら否定的態度に落ち込んでいくのでしょうか？

P. C. Roberts : —Stephen Cohen は、外交政策の議論は全く行われていないと言っています。議論がないのです。私は、この帝国は、ロシアと中国を不安定化させることができると考えていると思います。ワシントンが、アルメニア、キルギスタン、それにウズベキスタンで、カラー革命を狙っているのはそのためだと思います。ワシントンは、他の勢力の台頭を防ぐ決意をし、傲慢と思い上がりに我を失って、おそらく自分が成功すると信じているのでしょう。結局、歴史はワシントンを選んだ、と。

The Saker : —あなたは、大統領選挙は、今からも問題になると思われますか？ もしそうなら、2016年はどうなるのが最上ですか？ 私は個人的に、ヒラリー・クリントンが非常に恐ろしいのです。この人は特に危険で、完全な悪人だと思います。しかし共和党の中に現在のようにネオコンの力が働いていては、ネオコンでない共和党候補者が指名される望みが、実際にあるのでしょうか？

P. C. Roberts : —大統領選挙が問題になり得る唯一の道は、選ばれる大統領が背後に強力な運動をもつときでしょう。運動なしには、大統領は独立した力もなく、彼の命令を実行する人物を指名することもできないでしょう。大統領は捕らわれ人です。レーガンはちょっとした運動をもっていました、それはウォール街の反対にもかかわらず、スタグフレーションを治療するだけの力がありました。そして我々は、CIA と軍事/安全保障・複合企業の反対にもかかわらず、冷戦を終わらせることができました。ただレーガンは、かなり年寄りで昔の人でした。彼は大統領の地位は強力で、強力に働くものと考えていました。

The Saker : —軍隊についてどうでしょう？ あなたは、「いいえ大統領、それは馬鹿げていますよ、我々はそんなことはやりません」と言っている統合参謀本部議長を想像できますか？ それとも将軍たちは、ロシアに対して核戦争を始めることを含めて、どんな命令にも従うと予想しますか？ あなたは、米軍が割って入って、現在、ホワイトハウスと議会で権力を得ている“狂人ども”を抑えるだろうという、何らかの希望をもっておられますか？

P. C. Roberts : —米軍というのは軍事産業の作ったものです。将軍になれる資格とはもっぱら、“防衛”産業のコンサルタントとして、ふさわしい人間であること、もしくは“防衛”請負業者の理事会の重役になれるか、または出席できることです。軍は、将軍が大金をもらえる退職時の功績の出所として奉仕しています。アメリカの軍部は完全に腐敗しています。Andrew Cockburn の著書 *Kill Chain* を読んでみてください。

The Saker : —もしアメリカが本当に、ロシアとの戦争への道を意図的に進んでいるとしたら、ロシアはどうすべきですか？ ロシアは引き下がって、熱核戦争よりはましなオプションとして、屈服を受け入れるべきですか？ それともロシアは抵抗して、熱核戦争の可能性を受け入れるべきですか？ ロシア側が、非常に慎重に、しかし強力に、軍事力を誇示すれば、アメリカの攻撃は阻止できると思われませんか？

P. C. Roberts : —私は何度もそのことを考えました。考えてもわかりません。私は、プーチンは十分に人間味のある人物だから、世界の破壊の一部となるよりは、降伏すると思います。しかしプーチンは、ロシア内部の他の者たちに答えなければならず、ナショナリストたちが降伏を支持するとは思えません。

私の考えですが、私は、プーチンはヨーロッパに焦点を当てて、ロシアはアメリカの攻撃を予想する、そのときには返報として、ヨーロッパを消し去るよりほかに方法はない、とヨーロッパに知らせることだと思います。プーチンは、ヨーロッパに対し、第三次大戦を回避するためには、NATO を脱退せよと力説すべきです。

プーチンはまた、中国に対し、中国もロシアと同じように、アメリカには脅威と見えているのだから、2国が団結する必要がある、ときちんと理解させるべきです。おそらく、ロシアと中国が、ともに核警戒態勢——トップでなく高度な警戒態勢に戦力を維持し、アメリカの脅威を認識させ、この脅威を世界中に認識させるようにすれば、アメリカは孤立すると思われれます。

おそらく、インドの新聞、日本の新聞、フランスとドイツの新聞、イギリスの新聞、中国とロシアの新聞が、ロシアと中国は、ワシントンからの先制核攻撃を受けるのではないかと考えている、という報道をするようになれば、それは攻撃を予防する効果があるでしょう。

ロシアのメディアとインタビューした多くの私の経験から判断するかぎり、ロシア人は **Wolfowitz Doctrine** (ウォルフオウィッツ・ドクトリン) の認識がありません。彼らは、ロシアの意図についてある種の誤解があると考えています。ロシアのメディアは、ロシアが許されないのは、ロシアがアメリカの従僕国家でないからだということを理解していません。ロシア人たちは、“自由と民主主義”という西側のたわごとを信じていて、その点で欠点はあるが進歩はしている、などと考えています。言い換えると、ロシア人は、自分たちが破壊の目標になっていることを知らないのです。

The Saker : —あなたのお考えでは、何が、これほど多くのアメリカのエリート、ロシ

アに対する憎悪の根源なのですか？ それは単に冷戦の残したもののなのか、それとも、アメリカのエリートの間にある、ほとんど普遍的なロシア嫌いには、何か別の理由があるのでしょうか？ 冷戦の間でさえ、アメリカが反共産主義なのか反ロシアなのか、はっきりしませんでした。ロシアの文化、国民、または文明に、敵意を掻き立てるものがあるのでしょうか、あるとしたら、何でしょうか？

P. C. Roberts : ——ロシアに対する敵意は「ウォルフォウィッツ・ドクトリン」にまで遡ります——

「我々の第一の目標は、旧ソ連の領土内であろうと、どこであろうと、以前にソ連が与えたほどの脅威を与える、新しいライバルの再出現を防ぐことである。これが、新しい地域防衛戦略の根底にある最大の考慮であり、それは、いかなる敵対する権力であろうと、その資源が、強化された支配下で、地球的な権力を生み出すのに十分であるような地域を、それが支配することがないように、我々が努力することを要求する。」

アメリカが中東戦争に夢中になっている間に、プーチンはロシアを回復させ、ワシントンのシリア侵略とイラン爆撃の計画を食い止めました。ネオコン・ドクトリンの“第一の目標”は挫折しました。ロシアは計画の中に入ってこなければなりませんでした。それがワシントンのロシア攻撃の原点です。寄生的で捕らわれの身の、アメリカとヨーロッパのメディアは、無関心で正しい情報を与えられていない大衆に向かって、単に“ロシアの脅威”を繰り返しています。

ロシア文化の罪というものもあります——キリスト教的道徳、法と人類に対する敬意、強制でなく外交、伝統的な社会的しきたり。しかしこれらは背景です。ロシアが憎まれるのは、ロシアが、ワシントンの一方向的な単独権力を、抑制するからです。この抑制が戦争を引き起こすものです。

もしロシアと中国が、ワシントンの先制核攻撃を予想しなかったら、彼らは破壊されるでしょう。